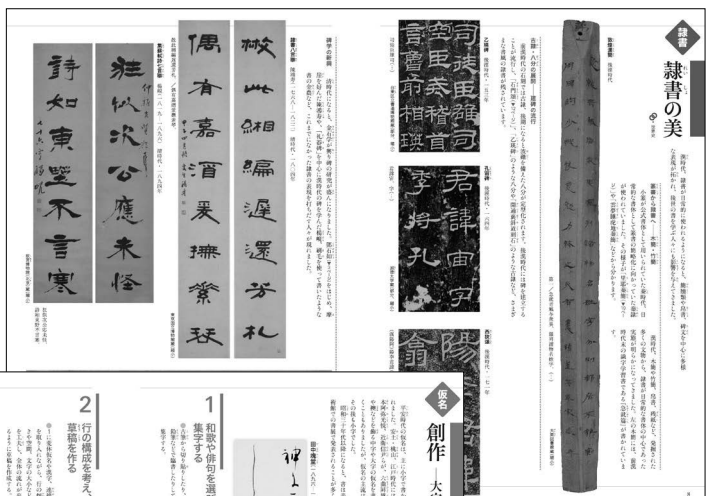


2 多様な書の美に触れ、書の創造性について理解し、深く味わう

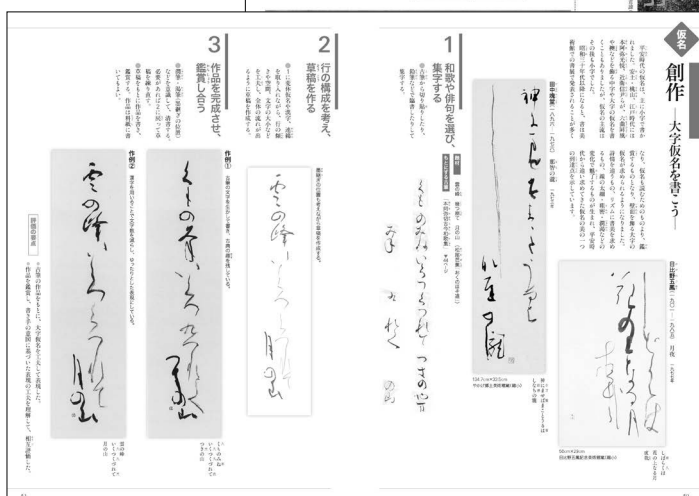
- 書を構成する要素と古典や古筆を踏まえて生み出される書の創造性について、理解できるように構成しました。また、書の美について考察を重ねてきた人々をコラム「書論」で紹介し、先人の書に学ぶ態度を養えるように配慮しました。
- 漢字の書では、「書の美」で古典が後の時代に引き継がれていることを示し、「鑑賞」で現代の作品に生かされていることが分かるように工夫しました。
- 仮名の書では、院政期の仮名から現代の大字仮名まで、仮名の幅広い表現の可能性について理解し、仮名の書の特徴を生かした創作ができるように構成しました。



p.8-9



p.21



p.50-51

3 書の伝統と文化に親しみ、心豊かな生活や社会環境を創造する態度を養う

- 漢字仮名交じりの書の教材では、学んだことを生活に生かすばかりではなく、書で表現することを楽しんだり、文化の相互理解に努めたりするなど、書が生活や社会に与える影響について考えられるよう構成しました。



p.64-65

- 篆刻では、伝統的な文化に則った落款の書き方を丁寧に解説し、篆刻のみならず、ほかの作品を書くときや鑑賞時に役立てられるようにしました。

落款の基本例／成語の例

落款では、作者名のほか、いつ・どこで、何を・どのようになどを漢文で記すことがあります。組み合わせ方は自由で、文の型を確認して応用しましょう。

【いつ・年・月・日・季節】
 令和六年三月二十一日の落合
 令和六年三月二十一日の落合
 令和六年三月二十一日の落合
 令和六年三月二十一日の落合

● 年号十支 令和甲辰三月〇〇書
 ● 干支十支 甲辰三月〇〇書
 ● 月の上下 甲辰三月下澣〇〇書
 ● 季節 甲辰春分／令和甲辰春日
 ● 月の別称 甲辰春分／暮春／嘉月
 ● 二十四節気 甲辰春分 ※甲辰三月二十一日は春分にあたる

干支
 十干と十二支の組み合わせで六十種あり、現在では年を表記するために用いられます。
 干支は六十種で一巡します。
 二〇二四年 甲辰 二〇二五年 乙巳
 二〇二六年 丙午 二〇二七年 丁未
 二〇二八年 戊申 二〇二九年 己酉
 二〇三〇年 庚戌 二〇三一年 辛亥

p.38


2. 対照表

	図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
漢字の書	篆書の美	・漢字の書に関する幅広い知識や教養を身につけられるように、さまざまな種類の古典作品を掲載し、作品の概要や表現の特徴、歴史的背景などの解説を取り上げました。(第1号)	p.2-32
	篆書 (散氏盤、詔版、篆書張茂先勅志詩)		
	鑑賞 一書のみや風趣を味わおう	・鑑賞の活動では、作者が学んできたことを作品にどのように取り入れてきたかを知り、それを踏まえて鑑賞することで、個人の価値観と芸術に向かう態度について考え、社会における芸術の果たす役割について考えられるよう工夫しました。(第3号)	p.7 p.13 p.24-25 p.33 p.36-37
	隷書の美		
	隷書 (里耶秦簡、萊子侯刻石、石門頌)	・創作の活動では、創作過程を明確にし、見通しを持って創作を進められる構成とすることで、自主・自律の精神と主体的な学習態度を養えるよう配慮しました。(第2号)	p.34-35
	鑑賞 一書のみや風趣を味わおう		
	草書・行書の美	・創作の活動では、完成させた作品を相互に鑑賞し評価しあう活動を通して、自己と他者を尊重し、協働的な学びができるよう工夫しました。(第3号)	p.34-35
	草書・行書		
	(喪乱帖、草書千字文、李太白憶旧遊詩卷、前後赤壁賦、三跡一和様の書へ)	・書体の概要や交流活動を示すことで、日本と中国が育んできた文字を通して、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養うよう配慮しました。(第5号)	p.2-3 p.8-9 p.14-15 p.26-29
鑑賞 一書のみや風趣を味わおう			
楷書の美	・書体の概要や交流活動を示すことで、日本と中国が育んできた文字を通して、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養うよう配慮しました。(第5号)	p.2-3 p.8-9 p.14-15 p.26-29	
楷書 (饗堂石、天柱山遊息題字、賢愚經 (大聖武))			
創作 一名言・名句を書こう	・創作の活動では、完成させた作品を相互に鑑賞し評価しあう活動を通して、自己と他者を尊重し、協働的な学びができるよう工夫しました。(第3号)	p.2-3 p.8-9 p.14-15 p.26-29	
鑑賞 一多様な表現の書			
篆刻・刻字	落款の書き方と用印法	・印や篆刻に関する幅広い知識や教養を身につけられるように、作品の大きさや印の関係や、印の種類、側款の刻し方などを取り上げました。(第1号)	p.38-41
		・落款の書き方について知ること、日本と中国が育んできた文字を通して、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養うよう配慮しました。(第5号)	p.38-41
仮名の書	院政期以降の仮名の美	・仮名の書に関する幅広い知識や教養を身につけられるように、さまざまな種類の古典作品を掲載し、作品の概要や表現の特徴、歴史的背景などの解説を取り上げました。(第1号)	p.42-47
	一爛熟から様式化へ		
	本阿弥切古今和歌集	・鑑賞の活動では、作者が学んできたことを作品にどのように取り入れてきたかを知り、それを踏まえて鑑賞することで、個人の価値観と芸術に向かう態度について考え、社会における芸術の果たす役割について考えられるよう工夫しました。(第3号)	p.48-49
	中務集		
	秋萩帖	・創作の活動では、創作過程を明確にし、見通しを持って創作を進められる構成とすることで、自主・自律の精神と主体的な学習態度を養えるよう配慮しました。(第2号)	p.50-51
	桂本万葉集		
鑑賞 一書のみや風趣を味わおう	・創作の活動では、完成させた作品を相互に鑑賞し評価しあう活動を通して、自己と他者を尊重し、協働的な学びができるよう工夫しました。(第3号)	p.50-51	
創作 一大字仮名を書こう			

漢字 仮名 交じり の書	創作—自己表現① 大切にしている言葉を書こう—	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に自分の表現を追求することができるよう、創作活動を中心に構成し、題材や作品形式の選定など、目的や意図、用途に応じた表現を追求することで、自主・自律の精神と主体的な学習態度を養うよう配慮しました。(第2号) ・掲載事例に、肢体の不自由などを伴いながらも絵や文字を書き続ける人々の活動や作品を取り上げることで、生命を尊重する態度を養えるように配慮しました。(第4号) ・掲載事例に、海外の学生との書道を通じた交流活動を取り上げることで、日本や他国の伝統と文化を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるように配慮しました。(第5号) 	p.54-59
	創作—自己表現② 表装形式を工夫しよう—		p.64-65
	創作—自己表現③ 大作に挑戦しよう—		p.64-65
	鑑賞—書の美や風趣を味わおう— 書とともに歩む		p.64-65
口絵 書道史地図	中国・日本書道史	<ul style="list-style-type: none"> ・「中国・日本書道史」では、書の歴史を概観し、書に関する幅広い知識や教養を身につけられるよう配慮しました。(第1号) 	p.66-69
資料			


3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

① 教育のICT化への取り組み

- ・教科書上の二次元コードや目次上に  マークがある教材では、インターネットを使って漢字や仮名の書の大意や書道用語、「中国・日本書道史」など、教材に関連する情報を見ることができます。タブレットやスマートフォンから確認できるので、家庭学習や個別学習にも活用できます。

(「編修趣意書(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)」の「2. 対照表」参照)

② 他教科の学習との関連

- ・国語や日本史、世界史など他教科の学習と関連する教材には、教科関連マーク  を付けることで意識化を図り、効果的な関連指導ができるように配慮しました。(p.2-3、8-9ほか)

③ ユニバーサルデザインを取り入れた紙面

- ・色覚の多様性に配慮し、カラーユニバーサルデザインの観点から、配色およびデザインについて、全ページにわたって専門家による検証を行っています。
- ・情報のまとまりが分かりやすいレイアウトや色使いにし、生徒の集中を妨げないように配慮しています。

④ 環境に配慮した印刷・造本

- ・再生紙・植物油インキを使用しています。
- ・印刷業界団体が定めた環境配慮基準を満たす「グリーンプリンティング認定工場」で印刷しています。
- ・ページの開きがよく、かつ耐久性が非常に高いPUR製本を採用しています。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※ 受理番号	学校	教科	種目	学年
104-38	高等学校	芸術	書道Ⅲ	
※ 発行者の番号・略称	※ 教科書の記号・番号	※ 教科書名		
2 東書	書Ⅲ 701	書道Ⅲ		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

① 古典や古筆と、近現代の作品の関係を分かりやすく提示

- 漢字の書は、各書体に「書之美」と「鑑賞」のページを設けました。「書之美」では、それぞれの書体を概観できるような作品、「鑑賞」には古典を踏まえた近現代の作品を掲載して、古代から現代にいたるまで、書が時代に合せて発展し、後世に影響を与えながら現代の芸術につながっていることが分かるようにしました。
- 仮名の書の「鑑賞」では、秋萩帖に傾倒した良寛の作品や、古筆と現代の書家の作品を並べて掲載することで、古筆の何を学び、自分の書にどのように生かしているか理解しやすいように工夫しています。

文字の始まりから様々に発達した篆書が、清時代の金石学の隆盛により、芸術的価値を高め、現代にも広く受け入れられていることが分かります。

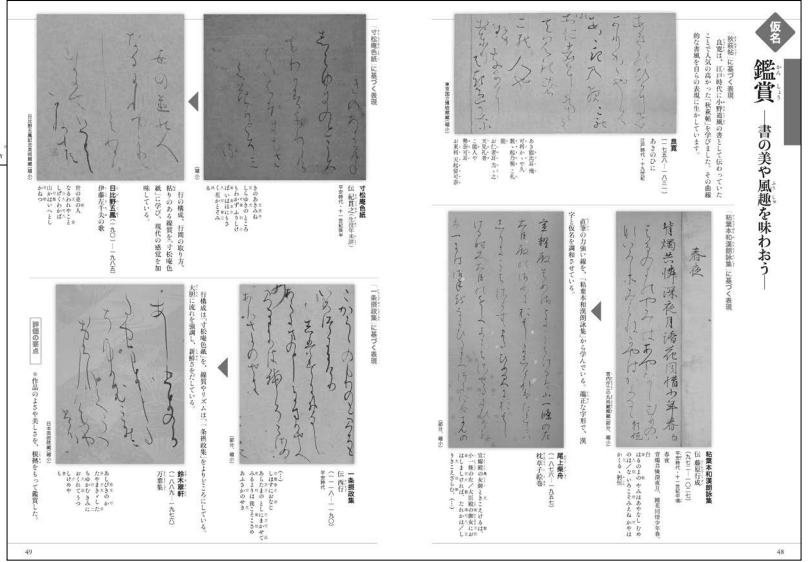


p.2-3



p.6-7

仮名は、古筆と近現代の作家たちの作品を並べて掲載しているので、どのような影響を受けているのかがひと目で分かります。

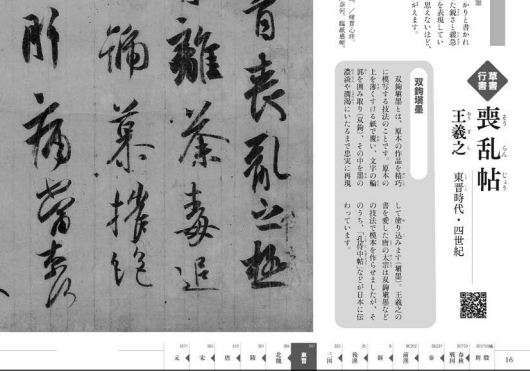


p.48-49

2 充実した鑑賞教材と、書の伝統と文化への理解を深められるコラム

- 教材の図版は高精細の画像を用意しました。また、鑑賞教材は古典を生かしたものから現代作家の多様な表現方法を駆使した作品まで幅広く取り上げ、創作活動や鑑賞の参考となるよう配慮しました。
- コラムでは、国を超えた文化の交流を取り上げたり、書が生活に密着してきた姿を掲載したりするなど、書の役割や、書によってもたらされる社会的効果について考えられるように構成しました。

王羲之の「喪乱帖」は、8行全文を、原寸で掲載しました。



p.60-61

古典に立脚したものだけではなく、個性的な作品にも触れられるようにしました。



p.52-53



p.26-27



p.62-63

人々に、書がどのように好まれ、生活の中に取り入れられ続けてきたのか、考えられるような教材を掲載しています。

3 精選された教材群

- 「漢字の書」「仮名の書」では、「書道Ⅰ」「書道Ⅱ」の学習を踏まえ、書体の変遷や書の表現方法、形式、時代性などについて理解を深めたり、効果的に表現するための技能を身につけたりできるような古典・古筆を精選しました。また、教科書に掲載する箇所は、その古典・古筆の中でも字形や用筆などの特徴がよく表れている部分を選定しました。

		基本教材	その他
漢字の書	篆書	散氏盤、詔版 篆書張茂先勅志詩（呉讓之）	甲骨文、婦閔卣、小克鼎、中山王響方壺、越王勾踐劍、郭店楚簡、権、封泥、瓦当、篆書軸（鄧石如）、権、楮量、龍虎（手島右卿）、殷文鳥獸戲画（青山杉雨）
	隸書	里耶秦簡、菜子侯刻石 石門頌	敦煌漢簡、乙瑛碑、孔宙碑、西狹頌、隸書八言聯（陳鴻寿）、集蘇軾詩七言聯（楊峴）、隸書六言詩橫披（金農）、李白戲贈鄭溧陽詩（中村不折）、広武將軍碑、隸書五言二句（西川春洞）、張遷碑
	草書・行書	喪乱帖（王羲之） 草書千字文（懷素） 李太白憶旧遊詩卷（黄庭堅） 前後赤壁賦（趙孟頫） 屏風土代（小野道風） 離洛帖（藤原佐理） 白氏詩卷（藤原行成）	快雪時晴帖（王羲之）、聾瞽指婦（空海）、陶淵明飲酒二十首卷（文徵明）、臨大令帖軸（王鐸）、左繡序（貫名菘翁）、飲中八仙歌（中野越南）、杜甫詩（赤羽雲庭）、慈惠（中林梧竹）、高青邱詩（村上三島）
	楷書	爨宝子碑 天柱山遊息題字（鄭道昭） 賢愚經（大聖武）（伝 聖武天皇）	高貞碑、楷書五言聯（趙之謙）、美人董氏墓誌銘、皇甫誕碑（歐陽詢）、李伯嘉墓誌銘（張即之）、楷書出師表卷（祝允明）、臨鄭義下碑（日下部鳴鶴）、汲古（上條信山）、龔定盦詩（西川寧）
	口絵 コラム 鑑賞	臨石鼓文軸（呉昌碩）、墨梅自寿図軸（呉昌碩）、東大寺猷物帳－国宝珍宝帳、伏波神祠詩卷（黄庭堅）、看読真詮榜（宗峰妙超）、十牛頌（絶海中津）、独立性易像－賛部分（独立性易）、楽志論屏風（市川米庵）、楷書醉古堂劍掃語（川村驥山）、愛（上田桑鳩）、白樂天詩（辻本史邑）、黒岳黒谿（大澤雅休）	
仮名の書		本阿弥切古今和歌集（伝 小野道風） 中務集（伝 西行） 秋萩帖（伝 小野道風） 桂本万葉集（源兼行）	藍紙本万葉集（伝 藤原公任）、一品経和歌懐紙（西行）、日野切（藤原俊成）、小倉色紙（藤原定家）、月夜（日比野五鳳）、那智の瀧（田中塊堂）
	コラム 鑑賞	あきのひに（良寛）、粘葉本和漢朗詠集（伝 藤原行成）、枕草子絵巻（尾上柴舟）、寸松庵色紙（伝 紀貫之）、伊藤左千夫の歌（日比野五鳳）、一条摂政集（伝 西行）、万葉集（鈴木翠軒）、鶴下絵三十六歌仙和歌巻・色紙帖（本阿弥光悦）、檜原図屏風（近衛信尹）、三十六歌仙帖（松花堂昭乗）	
漢字仮名交じりの書		宮沢賢治・雨ニモマケズ（金子鷗亭）、種田山頭火の句（小林抱牛）	
	コラム 鑑賞	噫横川國民學校（井上有一）、「山」広川親義の歌（大平山濤）、花いちもんめ（駒井鶯静）、安西冬衛の詩（近藤撰南）、松竹双雀葦手鏡、船橋蒔絵硯箱（本阿弥光悦）、色絵和歌三種短冊皿・乾山鏤絵染付山水図茶碗（尾形乾山）、金紅形身替文字模様厚板、なま川（歌川国芳）、『たけくらべ』初版表紙・「たけくらべ」自筆原稿（樋口一葉）、さくら（星野富弘）	

- 古典の図版は、高精細の美しい印刷で、原寸大や学習しやすい大きさを心がけました。

2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
書の美を深める 書道史地図		B (1) ア (ア)、イ (イ)	□絵、p.1	
漢字の書	篆書 篆書の美 「散氏盤」 <input type="checkbox"/> 「詔版」 <input type="checkbox"/> 「篆書張茂先勵志詩」 <input type="checkbox"/> 鑑賞 一書の美や風趣を味わおうー	A (2) ア、イ、ウ B (2) ア (ア)、 イ (ア) (イ) (ウ) 共通事項 (1) ア、イ	p.2-7	
	隸書 隸書の美 「里耶秦簡」 <input type="checkbox"/> 「萊子侯刻石」 <input type="checkbox"/> 「石門頌」 <input type="checkbox"/> 鑑賞 一書の美や風趣を味わおうー	A (2) ア、イ、ウ B (1) ア (ア)、 イ (ア) (イ) (ウ) 共通事項 (1) ア、イ	p.8-13	
	草書・行書 草書・行書の美 「喪乱帖」 <input type="checkbox"/> 「草書千字文」 <input type="checkbox"/> 「李太白憶旧遊詩卷」 <input type="checkbox"/> 「前後赤壁賦」 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コラム 書論 三跡 一和様の書へー <input type="checkbox"/> 鑑賞 一書の美や風趣を味わおうー <input type="checkbox"/> コラム 日中書道の交流	A (2) ア、イ、ウ B (1) ア (ア) (イ)、 イ (ア) (イ) (ウ) 共通事項 (1) ア、イ	p.14-27	
	楷書 楷書の美 「爨宝子碑」 <input type="checkbox"/> 「天柱山遊息題字」 <input type="checkbox"/> 「賢愚經 (大聖武)」 <input type="checkbox"/> 鑑賞 一書の美や風趣を味わおうー	A (2) ア、イ、ウ B (1) ア (ア)、 イ (ア) (イ) (ウ) 共通事項 (1) ア、イ	p.28-33	
	創作 一名言・名句を書こうー 鑑賞 一書の美や風趣を味わおうー	A (2) ア、イ、ウ B (1) ア (ア)、 イ (ア) (イ) (ウ)	p.34-37	
篆刻 落款の書き方と用印法	A (2) ア、イ、ウ B (1) ア(ア)、イ(ア) (イ) 共通事項 (1) ア、イ	p.38-41		
仮名の書	院政期以降の仮名の美 一爛熟から様式化へー 「本阿弥切古今和歌集」 <input type="checkbox"/> 「中務集」 <input type="checkbox"/> 「秋萩帖」 <input type="checkbox"/> 「桂本万葉集」 <input type="checkbox"/>	A (3) ア、イ、ウ B (1) ア (ア)、 イ (ア) (イ) (ウ) 共通事項 (1) ア、イ	p.42-47	
	鑑賞 一書の美や風趣を味わおうー 創作 一大字仮名を書こうー <input type="checkbox"/> コラム 寛永の三筆	A (3) ア、イ、ウ B (1) ア (ア)、イ (ア) (イ) 共通事項 (1) ア、イ	p.48-53	
漢字仮名の書 交じりの書	創作 ー自己表現① 大切にしている言葉を書こうー ー自己表現② 表装形式を工夫しようー ー自己表現③ 大作に挑戦しようー 鑑賞 一書の美や風趣を味わおうー <input type="checkbox"/> コラム 書の広まり 書とともに歩む	A (1) ア、イ、ウ B (1) ア (ア)、 イ (ア) (イ) 共通事項 (1) ア、イ	p.54-65	
資料	中国・日本書道史 <input type="checkbox"/>	B (1) イ (イ) (ウ)	p.66-69	

…インターネットを使って資料を活用できる単元